

愛媛県の地震

2024年（令和6年）6月

目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図 1
2. 地震概況 1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 2～3
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図 ... 3～5
5. 地震一口メモ
 気象庁震度階級関連解説表について 6

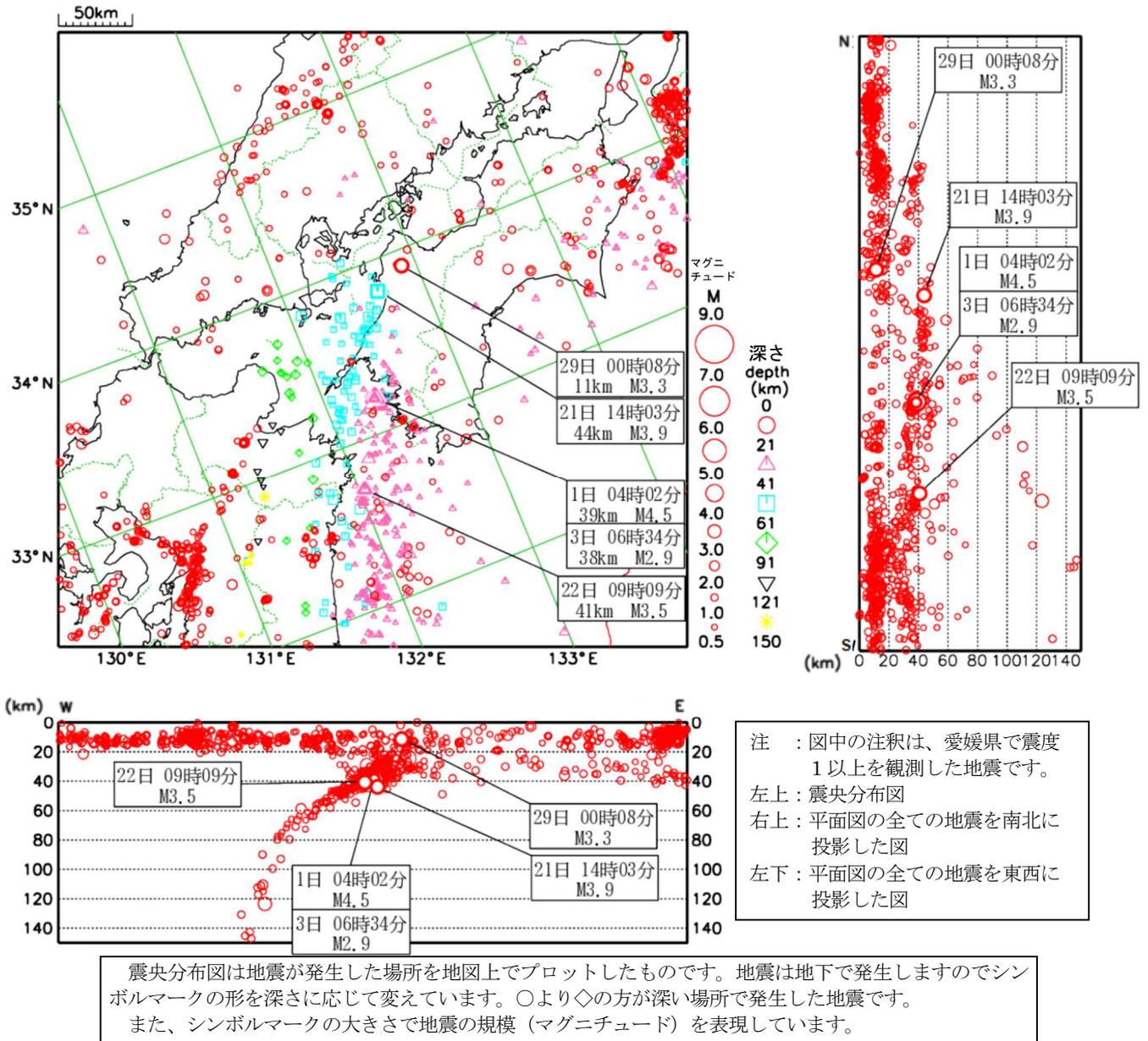
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2024年6月1日～6月30日]



2. 地震概況

2024年6月に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうちM2.0以上の地震の回数は75回（先月は111回）、愛媛県内で震度1以上を観測した地震は5回（先月は13回）でした。

1日04時02分 豊後水道の地震（深さ39km、M4.5）により、愛媛県宇和島市・松野町・愛南町・鬼北町で震度3を観測しました。そのほか、高知県宿毛市で震度4を観測し、中国・四国・九州地方で震度3～1を観測しました。

3日06時34分 豊後水道の地震（深さ38km、M2.9）により、愛媛県宇和島市、高知県宿毛市で震度1を観測しました。

21日14時03分 安芸灘の地震（深さ44km、M3.9）により、愛媛県西条市・大洲市で震度3を観測したほか、中国・四国地方で震度2～1を観測しました。

22日09時09分 日向灘の地震（深さ41km、M3.5）により、愛媛県愛南町、大分県佐伯市、宮崎県延岡市・高千穂町・美郷町で震度1を観測しました。

29日00時08分 愛媛県中予の地震（深さ11km、M3.3）により、愛媛県今治市で震度2を観測したほか、松山市で震度1を観測しました。

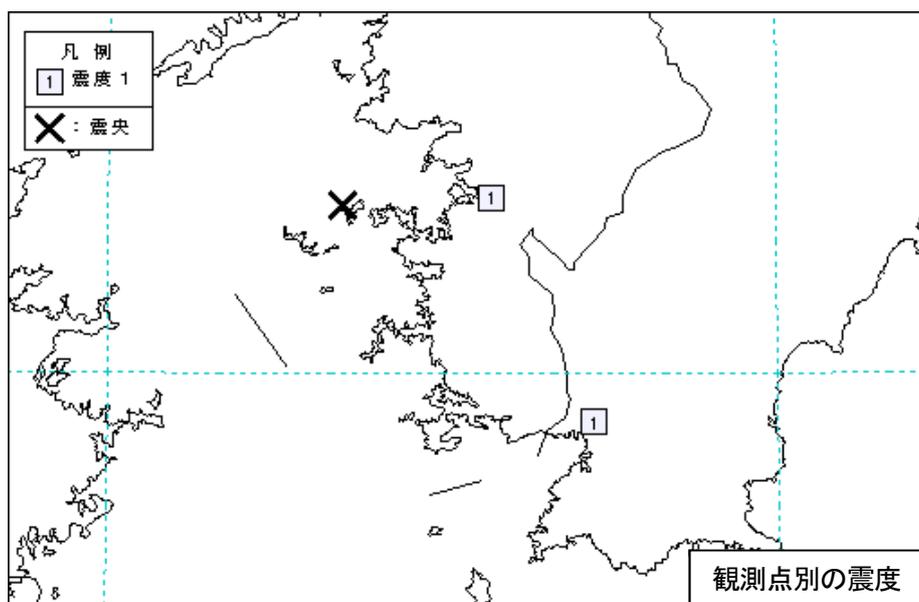
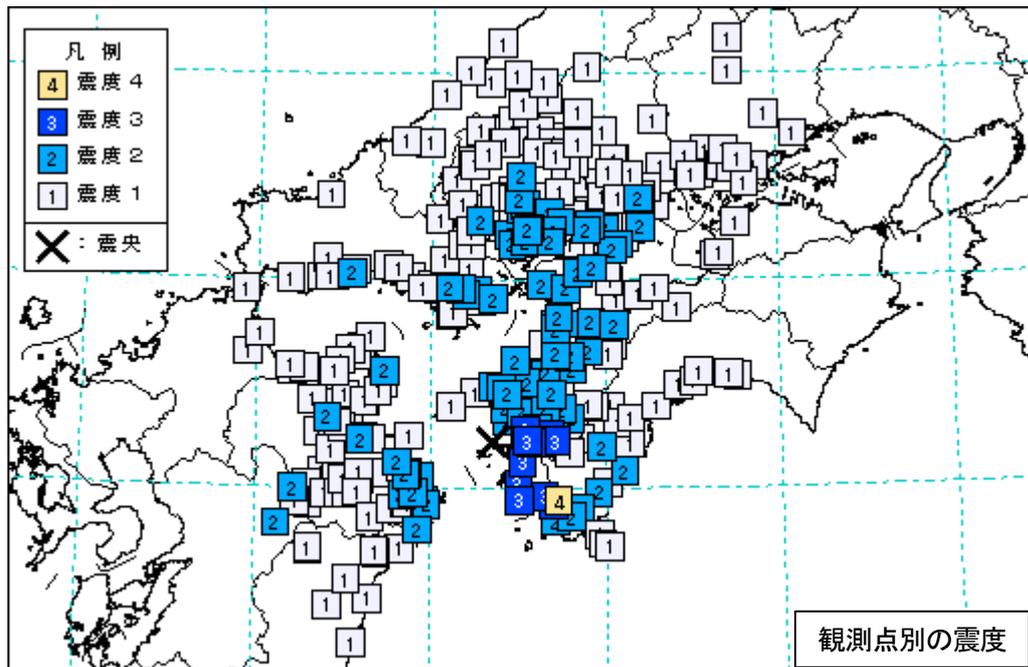
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震

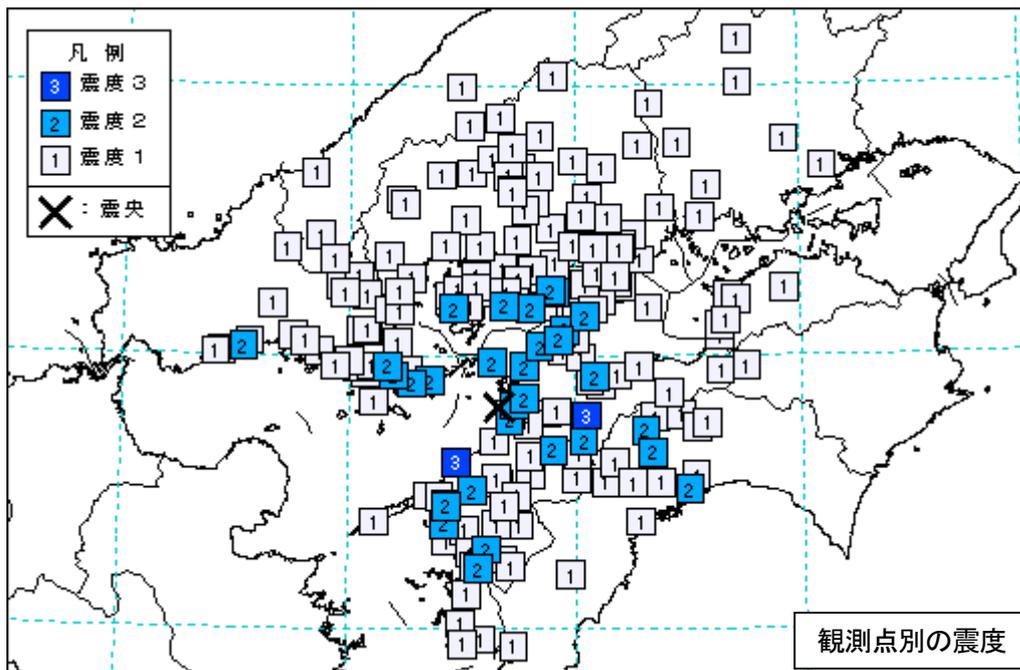
注：*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
2024年06月01日04時02分	豊後水道	33° 12.9' N	132° 21.3' E	39km	M4.5	4
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 3:	宇和島市住吉町,宇和島市丸穂*,宇和島市津島町*,宇和島市吉田町*,松野町松丸* 愛南町船越*,愛南町柏*,愛南町一本松*,愛媛鬼北町近永*				
	震度 2:	今治市大西町*,今治市菊間町*,今治市吉海町*,今治市宮窪町*,今治市大三島町* 西条市丹原町鞍瀬,上島町弓削*,松山市富久町*,松山市北条辻*,松山市中島大浦* 伊予市下吾川*,伊予市中山町*,愛媛松前町筒井*,砥部町総津*,久万高原町久万* 東温市南方*,東温市見奈良*,宇和島市三間町*,八幡浜市五反田* 八幡浜市保内町*,大洲市肱川町*,大洲市長浜*,大洲市大洲*,内子町内子* 内子町平岡*,内子町小田*,伊方町湊浦*,西予市野村町,西予市城川町* 西予市宇和町*,西予市三瓶町*,西予市明浜町*,愛南町御荘*,愛南町城辺* 愛媛鬼北町成川,愛媛鬼北町下鍵山*				
	震度 1:	今治市南宝来町二丁目,今治市朝倉北*,今治市上浦町*,今治市関前岡村* 今治市伯方町*,新居浜市一宮町,新居浜市別子山*,西条市新田* 西条市丹原町池田*,上島町生名*,上島町岩城*,松山市北持田町,伊予市双海町* 砥部町宮内*,久万高原町東川*,久万高原町渋草*,八幡浜市広瀬,大洲市豊茂 大洲市河辺町*,伊方町三崎*,伊方町三机*				
2024年06月03日06時34分	豊後水道	33° 12.7' N	132° 21.0' E	38km	M2.9	1
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1:	宇和島市丸穂*				
2024年06月21日14時03分	安芸灘	33° 48.7' N	132° 39.8' E	44km	M3.9	3
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 3:	西条市丹原町鞍瀬,大洲市長浜*				
	震度 2:	今治市大西町*,今治市菊間町*,今治市吉海町*,今治市波方町*,西条市周布* 松山市北持田町,松山市富久町*,松山市北条辻*,松山市中島大浦*,伊予市下吾川* 久万高原町久万*,久万高原町渋草*,宇和島市丸穂*,宇和島市三間町* 八幡浜市五反田*,大洲市大洲*,西予市三瓶町*				
	震度 1:	今治市南宝来町二丁目,今治市朝倉北*,今治市玉川町*,今治市宮窪町* 今治市上浦町*,今治市大三島町*,今治市関前岡村*,今治市伯方町* 新居浜市一宮町,新居浜市別子山*,西条市新田*,西条市丹原町池田* 西条市小松町*,四国中央市新宮町*,上島町魚島*,上島町生名*,上島町弓削* 上島町岩城*,伊予市双海町*,愛媛松前町筒井*,砥部町総津*,砥部町宮内* 久万高原町東川*,久万高原町柳井川*,東温市南方*,東温市見奈良* 宇和島市住吉町,宇和島市津島町*,宇和島市吉田町*,八幡浜市広瀬 八幡浜市保内町*,大洲市肱川町*,大洲市河辺町*,内子町内子*,内子町平岡* 内子町小田*,伊方町三崎*,伊方町湊浦*,松野町松丸*,西予市野村町 西予市城川町*,西予市宇和町*,西予市明浜町*,愛南町船越*,愛南町柏* 愛南町城辺*,愛媛鬼北町近永*				
2024年06月22日09時09分	日向灘	32° 42.7' N	132° 02.2' E	41km	M3.5	1
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1:	愛南町船越*				

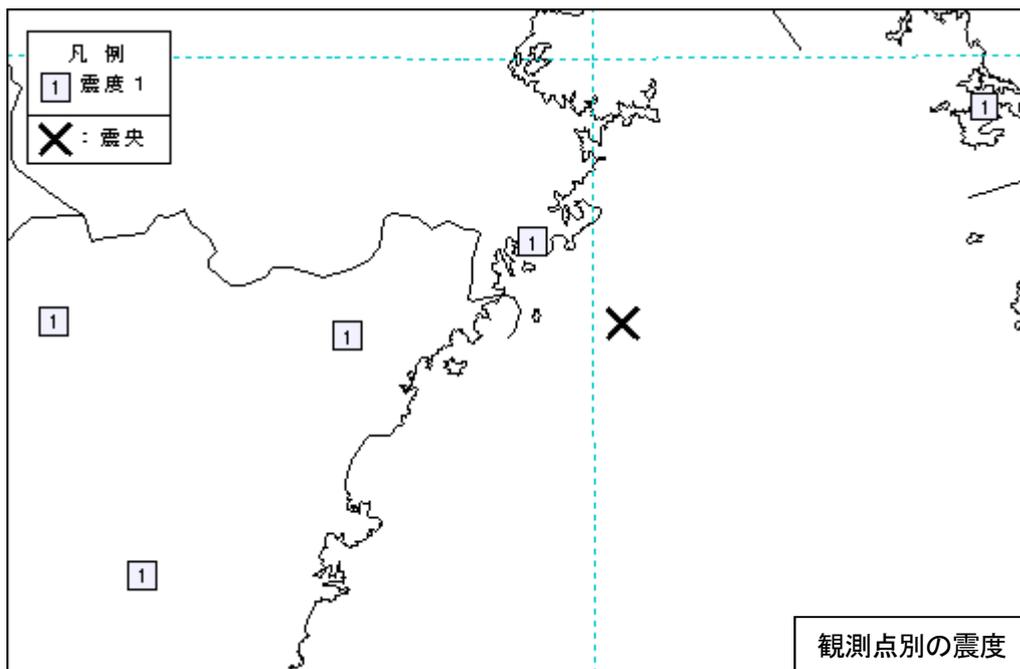
震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2024年06月29日00時08分	愛媛県中予	33° 54.1' N	132° 53.8' E	11km	M3.3	2
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 2: 今治市菊間町*					
	震度 1: 今治市南宝来町二丁目, 今治市玉川町*, 今治市大西町*, 松山市北持田町 松山市富久町*, 松山市北条辻*					

4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図

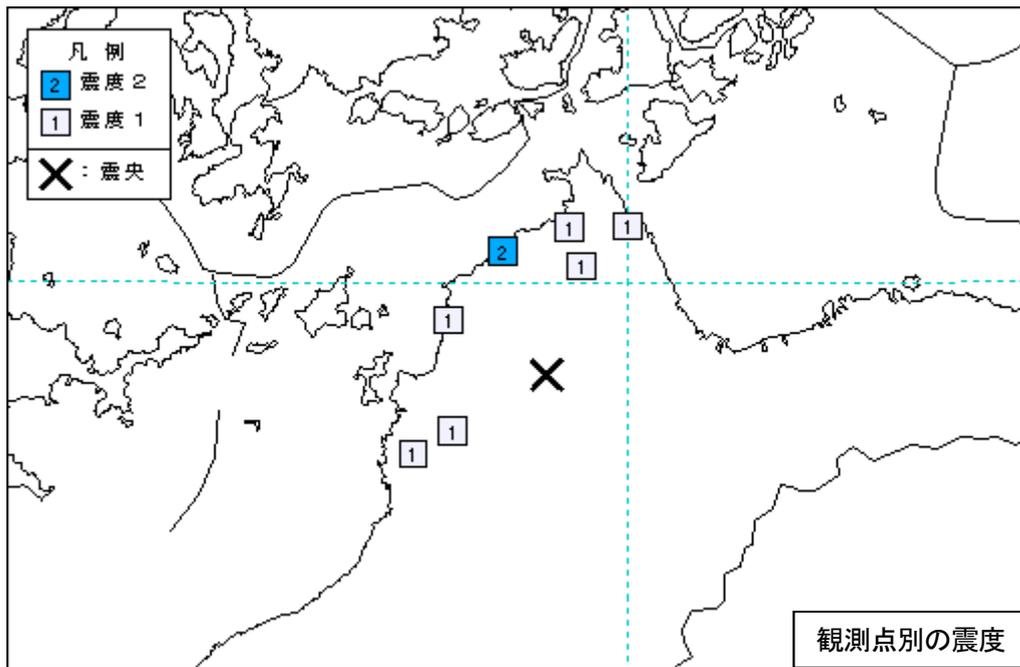




6月21日 14時03分 安芸灘



6月22日 09時09分 日向灘



6月29日00時08分 愛媛県中予

5. 地震一口メモ

気象庁震度階級関連解説表について

かつて、震度は体感および周囲の状況から推定していましたが、平成8年（1996年）4月以降は、計測震度計により自動的に観測し速報しています。気象庁の震度階級は、平成8年（1996年）10月以降、「震度0」「震度1」「震度2」「震度3」「震度4」「震度5弱」「震度5強」「震度6弱」「震度6強」「震度7」の10階級となっています。「気象庁震度階級関連解説表」は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すものです（それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません）。「気象庁震度階級関連解説表」は、様々な状況ごとに種類があるのですが、下記では一部を紹介します。

木造建物（住宅）の状況

震度階級	木造建物(住宅)	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5強	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
6弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。 瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。 傾くものや、倒れるものが多くなる。
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

（注1）木造建物（住宅）の耐震性により2つに区分けした。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり、概ね昭和56年（1981年）以前は耐震性が低く、昭和57年（1982年）以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

（注2）この表における木造の壁のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁（割り竹下地）、モルタル仕上壁（ラス、金網下地を含む）を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。

（注3）木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

地盤・斜面等の状況

震度階級	地盤の状況	斜面等の状況
5弱	亀裂 ^{※1} や液状化 ^{※2} が生じることがある。	落石やがけ崩れが発生することがある。
5強		
6弱	地割れが生じることがある。	がけ崩れや地すべりが発生することがある。
6強	大きな地割れが生じることがある。	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある ^{※3} 。
7		

※1 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

※2 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。

※3 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形等によっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

他の表や詳しい解説は、以下の気象庁ホームページ「気象庁震度階級関連解説表」に掲載しています。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/shindo/kaisetsu.html>